

令和7年度第75回三重県高等学校総合体育大会 兼 全国・東海高校総体予選大会要項 サッカー競技(男子)(案)

主催 三重県高等学校体育連盟、三重県教育委員会、(一社)三重県サッカー協会

後援 (公財)三重県スポーツ協会

主管 三重県高等学校体育連盟サッカー専門部、(一社)三重県サッカー協会

1 期日 1回戦 2025年 5月 3日(土) 2回戦 2025年 5月10日(土)
3回戦 2025年 5月17日(土) 準々決勝 2025年 5月24日(土)
準決勝 2025年 5月30日(金) 決勝 2025年 6月 1日(日)
予備日 2025年 5月11日(日)、18日(日)、25日(日)

2 会場 1回戦～3回戦 NTN総合運動公園サッカー場、四日市市中央フットボール場
伊勢フットボールヴィレッジ、松阪市総合運動公園、メイハンフィールド
海星高校、四日市中央工業高校、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 等
準々決勝 伊勢フットボールヴィレッジ
準決勝 四日市市中央陸上競技場
決勝 三重交通Gスポーツの杜鈴鹿(メイン)

3 参加資格

- ①2025年度日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
- ②選手は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数を指し、専門部が責任を持って調整・確認する)
- ③チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
ただし、合同チームについては別紙「部員不足による合同チームの大会参加について」参照。
- ④ア) 転校後6か月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りではない。
イ) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6か月間は出場できない。
ウ) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記アに準ずるものとする。
ただし、規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
- ⑤選手は、当該学校長の参加承諾を必要とする。
- ⑥引率者は、大会派遣期間中の生徒の引率責任(指導、法的責任)を負う

4 参加申込み

顧問総会当日に申込用紙を持参すること。

5 本大会参加費

2000円

6 競技方法

- ①トーナメント戦を行い、優勝、準優勝を決定する。なお、3位決定戦は行わない。
- ②試合時間は70分とする。勝敗が決しない場合は20分間の延長を行う。尚、決しない場合は、PK方式によって次回戦に進出チームを決定する。

7 競技規定

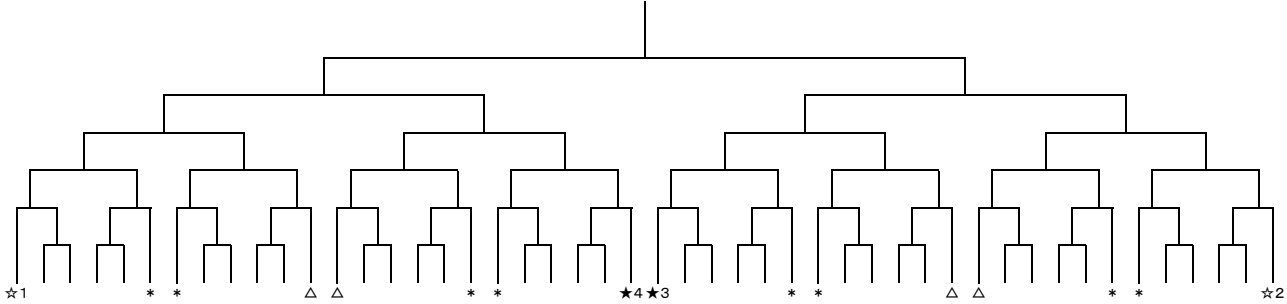
- ①2024-2025年日本サッカー協会制定の『競技規則』による。※脳震盪による交代枠の追加を適用する。
- ②各試合ごとの登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の中から、5名まで交代が認められる。
- ③準決勝及び決勝については、70分間の交代回数は、各チーム最大3回とする(1回に複数人を交代することは可能)。ただしハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- ④延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる(直前の70分間と合わせて最大6名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦開始前および延長戦のハーフタイムの交代は、回数に含まれない。

8 懲罰

- ①本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- ②規律委員会は、2種委員長、2種副委員長、2種審判委員長、2種技術委員長で構成する。
- ③本大会期間中に警告を2回受けた者は、次の1試合に登録することができない。
- ④本大会中において、退場を命ぜられた者は、次の1試合は登録することができない。
それ以降の処置については、大会規律委員会において処置を決定する。

9 組合せ(シード)について

- 第1シード:新人大会優勝校が☆1に入る
- 第2シード:新人大会準優勝校が☆2に入る
- 第3シード:新人大会3位校(2校)が抽選で★3・★4に入る
- 第4シード:新人大会5位校(4校)が抽選で△に入る
- 第5シード:新人大会9位校(8校)が抽選で*に入る



10 表彰

優勝以下、第5位チームまでを表彰する。

11 選手の用具

- ①本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ②正・副の2色については明確に異なる色(ユニフォームシャツは黒色系統は不可)とする。
- ③主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑤ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける場合、同色系または透明なものとする。
また、外部にサポーター等を着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥アンダーシャツの色はユニフォームシャツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑦アンダーショーツおよびタイツの色はユニフォームショーツに使用されている色のものを着用する。
ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑧キャプテンはアームバンドを着用しなければならない。
アームバンドの色や文字、デザインについては問わない。(単色でなくてもよい。)ただし、柔らかく、軽い材質でできているものに限る。

12 その他

- ①大会中の傷害等の応急処置は本部で行うが、以後の責任は負わない。
- ②雨天決行とする。(ただし、朝6:00の段階で暴風警報・暴風雪警報・特別警報・地震警戒宣言が発令されている場合、競技は中止とする。その後警報・警戒宣言が解除された場合、大会役員、引率職員および関係者と開催について協議する。)
- ③優勝校は全国総体及び東海総体への出場権を、準優勝校は東海総体への出場権を獲得する。
- ④副審は審判服を着用すること。